

5 | 沿革

沿革

年 月	主要事項
(昭8) 1933. 12	自動車製造(株)、資本金1,000万円で横浜市に設立、取締役社長に鮎川義介就任
'34. 5	横浜工場完成(治工具の製作開始)
6	社名を日産自動車(株)と改称 「ダットサン」をアジア、中南米などに向けて輸出開始(計44台)
(昭10) '35. 4	横浜工場で一貫生産を開始
5	社章制定
(昭15) '40. 3	満州・同和自動車工業向けにKD輸出を開始
'43. 8	吉原工場完成('43.10 稼働開始)
12	第2次世界大戦に伴い、乗用車・トラック共全面的に生産中止
'44. 9	本社事務所を東京日本橋に移し、日産重工業(株)と改称
(昭20) '45. 11	戦後第1号車オフライン
'46. 1	本社事務所を再び横浜市に移転
8	繊維機械の研究開始
'49. 8	社名を日産自動車(株)に復帰
(昭25) '50. 5	民生ディーゼル工業(現:日産ディーゼル工業)に資本参加
'52. 12	英国オースチン社と技術提携
'53. 4	ロケットの研究開発に着手
8	日産自動車労働組合(新組合)結成
'57. 8	フォークリフト第1号車オフライン
'58. 6	乗用車の対米輸出開始
9	第6回豪州一周ラリーに「ダットサン」初出場、1台がAクラス優勝
'59. 3	台湾・裕隆社、日産の海外KD工場として生産開始
(昭35) '60. 3	英国オースチン社との技術提携終了
6	第10回デミング賞実施賞を受賞
9	米国日産設立
'61. 9	メキシコ日産設立('66.7 生産開始)
'62. 3	追浜工場完成('61.10 一部稼働開始)
(昭40) '65. 5	座間工場完成('64.12 一部稼働開始)
'66. 5	豪州日産設立
8	プリンス自動車工業と合併、これに伴い村山工場が当社に帰属
'67. 7	本牧専用埠頭完成
'68. 1	本社事務所、東京銀座の新社屋に移転
10	富士重工業と業務提携
'69. 11	輸出累計100万台達成
(昭45) '70. 2	L-4Sロケット5号機による日本初の人工衛星「おおすみ」打上げ成功(ロケット本体およびロケット・エンジンの開発・製作を担当)
3	マリン事業に進出
'71. 3	栃木工場完成('68.10 一部稼働開始)
'72. 9	生産累計1,000万台達成
'73. 10	相模原部品センター完成('72.4 一部稼働開始)
'74. 4	日産科学振興財団設立

年 月	主要事項
(昭50) '75. 6	国内登録累計1,000万台達成
'76. 3	豪州日産製造設立、生産開始
'77. 6	九州工場完成('75.4 一部稼働開始)
7	生産累計2,000万台達成
'79. 4	米国に日産デザインインターナショナル社設立
(昭55) '80. 1	スペインのモートル・イベリカ社に資本参加
1	輸出累計1,000万台達成
7	米国日産製造設立('83.6「ダットサントラック」、'85.3「サニー」第1号車オフライン)
'81. 6	蒲原工場完成、稼働開始
7	輸出ブランド名を「NISSAN」に統一する方針発表
8	生産累計3,000万台達成
9	西独VW社と乗用車の生産、販売に関する協力契約を締結
11	テクニカルセンター完成
'82. 3	横浜工場久里浜分工場完成('82.5 稼働開始)
4	本社ビル新館完成
4	サファリラリー4年連続完全制覇
6	米国マーチン・マリエッタ社と宇宙航空産業分野における技術援助契約を締結
12	新コーポレートマーク発表
'83. 1	スペインの日産モートル・イベリカ会社、日産車「パトロール(日本名:サファリ)」の生産開始
7	米国に日産リサーチ&ディベロプメント会社(現:日産テクニカルセンター・ノースアメリカ社)設立
'84. 2	西独VW社との提携による「サンタナ」の生産・販売開始
4	英国日産製造設立('86.7 生産開始)
5	国内登録累計2,000万台達成
11	追浜専用埠頭完成('83.5 開港)
(昭60) '85. 7	台湾の裕隆社に資本参加
8	生産累計4,000万台達成
10	海外研修センター完成
'86. 1	川崎部品流通センター完成('86.2 稼働開始)
12	企業理念、経営指針発表
'87. 1	「バルサー」、「エクサ」、「ラングレー」、「リベルタピラ」が'86-'87 日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞
4	輸出累計2,000万台達成
5	韓国・大宇社「バネットトラック」の生産・販売開始
8	H-Iロケットによる技術試験衛星「きく5号」打上げ成功(当社開発の国産初アポジモーター等を採用)
'88. 4	「ARC-X」が'88トリノ・ピエモンテ・カーデザインアワードを受賞
6	ニッサン・ヨーロッパ・テクノロジー・センター社(現:日産テクニカルセンター・ヨーロッパ社)設立(英国)

<歴代社長任期>

代	氏名	任期
初代	鮎川 義介	S8.12～ S14.5
2代	村上 正輔	S14.5～ S17.2

年月	主要事項
8	バレット産業車両会社の株式を取得、米国でのフォークリフト生産を決定
10	「シルビア」が昭和63年度グッドデザイン大賞を受賞
(平1) '89. 1	「シルビア」が'88-'89日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞
4	欧州日産会社(欧州統括会社)および日産欧州物流会社設立('90.4 営業開始)
'90. 1	北米日産会社(米国統括会社)設立('90.4 営業開始)
1	生産累計5,000万台達成
2	「300ZX(日本名:フェアレディZ)」が米国インポート・カー・オブ・ザ・イヤーを受賞
5	座間工場生産累計1,000万台達成
8	フロンガス削減計画を発表
11	タイ・サイアム社に資本参加
'91. 1	日立製作所と合併で車載情報通信関連のザナヴィ・インフォマティクス社を設立('91.4 営業開始)
3	英国に新たなディストリビューター英国日産自動車会社を設立('92.1 営業開始)
6	購入部品会社等で組織する協力会を再編成し、新協力を「日翔会」を設立
8	英国日産製造「プリメーラ5ドアハッチバック」の日本向け出荷開始
'92. 1	北海道陸別試験場設立(寒冷地用試験場)
4	九州新工場完成、稼働開始
6	米国日産製造にて米国第3の現地生産車「アルティマ(日本名:ブルーバード)」の生産開始
7	フォードとの共同事業による多目的車「クエスト」を米国で販売開始
8	英国日産製造にて英国第2の現地生産車「マイクラ(日本名:マーチ)」の生産開始
9	豪州日産製造会社設立
10	国内登録累計3,000万台達成
10	豪州日産製造での車両生産を終了
11	ドイツに日産デザインヨーロッパ会社設立
11	「マイクラ(日本名:マーチ)」が欧州カー・オブ・ザ・イヤー1993を受賞
12	「マーチ」が1992-1993RJCニュー・カー・オブ・ザ・イヤー、'92-'93日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞
(平5) '93. 2	日産モーター・イベリカにて新型四輪駆動車「テラノII」生産開始
3	中国における商用車の合併会社「鄭州日産汽車有限公司」を設立
9	アジア地域専用車「ADリゾート(ワゴン・ピックアップ)」をタイ、台湾で生産・販売開始
9	メキシコ日産、ADバンの日本向け出荷開始
10	繊維機械事業部を分離独立、「日産テクシス(株)」を設立

年月	主要事項
'94. 1	いわき工場生産開始
4	日産モーター・イベリカ、日本向け「ミストラル」の出荷開始
4	英国日産製造、3年連続で輸出に貢献した企業に贈られる英国「女王賞」を受賞
4	乗用車事業において韓国三星重工業と技術援助契約を締結('95.3三星自動車設立)
6	中国向け配給会社「日産汽車(中国)有限公司」を香港に設立
6	UAEのドバイに統括会社「中東日産会社」を設立
12	生産累計6,000万台達成
'95. 3	座間工場での車両組立て終了
5	英国日産製造、マーチの豪州向け輸出開始
'96. 1	いわき工場VQエンジン生産累計50万台達成
10	海外生産累計1,000万台達成
'97. 5	米国日産自動車製造、デカード市のエンジン・トランスミッション新工場での生産を開始
6	ニッサン・ヨーロッパ・テクノロジー・センター(エスパーニャ)社設立
9	無段変速機HYPER CVT搭載車(プリメーラ、ブルーバード)の販売を開始
12	直噴ガソリンエンジン搭載車(レバード)の販売を開始
(平10) '98. 4	宇宙航空事業部「富岡事業所」完成、5月稼働開始
6	ル・マン24時間レースにおいてニッサンR390GT1、3位入賞
6	直噴ディーゼルエンジン搭載車(プレサージュ)の販売を開始
(平11) '99. 3	ルノーと資本参加を含むグローバルな提携契約に調印
3	国内全生産7工場および商品開発部門での環境マネジメント国際規格ISO14001認証取得を完了
4	日産テクシス(株)が持つウォータージェット織機事業を豊田自動織機製作所へ譲渡
5	メタノール改質式燃料電池車の走行試験を開始
6	富士工場および自動変速機・無段変速機開発部門を分離独立、トランステクノロジー株式会社(現:ジヤトコ株式会社)を設立
7	輸出累計3,000万台達成
10	新世代トランスミッション「エクストロイドCVT」搭載車(ゼドリック/グロリア)の販売を開始
10	「日産リバイバル・プラン(NRP)」を発表
11	「ゼドリック/グロリア」が1999-2000 RJCニューカー・オブ・ザ・イヤーを、「エクストロイドCVT」が1999-2000テクノロジー・オブ・ザ・イヤーを受賞
12	新業態大型店舗「カレスト座間」の営業を開始
(平12)2000. 2	超小型電気自動車「ハイパーミニ」の販売を開始

3代	浅原 源七	S17.3～ S19.9	6代	山本 惣治	S20.10～ S22.5	9代	川又 克二	S32.11～ S48.11	12代	久米 豊	S60.6～ H4.6	15代	Carlos Ghosn	H12.6～
4代	工藤 治人	S19.9～ S20.6	7代	箕浦 多一	S22.5～ S26.10	10代	岩越 忠恕	S48.11～ S52.6	13代	辻 義文	H4.6～ H8.6			
5代	村山 威士	S20.6～ S20.10	8代	浅原 源七	S26.10～ S32.11	11代	石原 俊	S52.6～ S60.6	14代	堀 義一	H8.6～ H12.6			

2007年3月末現在

年月	主要事項
2	極超低排出ガス車「セントラCA」を米国カリフォルニア州で販売開始
4	米国日産自動車製造会社を北米日産会社に統合
5	日産の販売会社にてルノー車の販売を開始
5	ルノーと、メルコスール(南米南部共同市場—アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイが加盟)における長期戦略を発表
11	ブルーバード シルフィ搭載の1.8リッター(QG18DE)エンジン、RJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤーを受賞
(平13) '01. 3	村山工場での車両生産を終了
4	軽乗用車のOEM供給についてスズキ(株)と基本合意
4	米国で新車両組立工場(ミシシッピ州キャントン)の建設を開始
4	米国カリフォルニア州サクラメントを拠点に、水素貯蔵式燃料電池車「Xterra FCV」の公道走行実験を開始
12	ルノーとのアライアンスによる共同工場がブラジルに完成
(平14) '02. 1	「アルティマ」が2002年北米カー・オブ・ザ・イヤーを受賞
2	1年前倒しでのNRP完了を宣言
2	ルノー、日産に対する株式保有比率を44.4%に引き上げ
3	ルノーの発行済株式の13.5%を取得
4	軽自動車「モコ」発表、これにより軽自動車市場に参入
5	新3カ年計画「日産180」を発表
5	ルノーに対する資本比率を15%に引き上げ
11	「インフィニティG35スポーツセダン(日本名スカイライン)/スポーツクーペ」が米国「モータートレンド」誌カー・オブ・ザ・イヤーを受賞
(平15) '03. 1	ロンドンに新デザインセンターを開設
3	横浜工場ゲストホールをオープン
5	2002年度の営業利益率10.8%に史上最高の収益性を達成
5	ミシシッピ州キャントン新工場、操業開始
6	日産と東風汽車公司(中国)、新会社「東風汽車有限公司」設立を発表
8	三菱自動車と軽商用車に関する製品供給契約を締結
9	ロシアに販売会社設立へ
9	グループ内のサービス・サポート会社を統合
10	日産ディーゼルと小型トラックの合併会社を設立
11	ティアナが日本カー・オブ・ザ・イヤー2003-2004の特別賞(Best Value)を受賞
12	燃料電池車「X-TRAIL FCV」03年モデル、限定リース販売を開始

年月	主要事項
12	「ブルーバード シルフィ」が日本で初めて「平成17年基準排出ガス75%低減レベル(SU-LEV)」に認定
(平16) '04. 3	九州工場の新ゲストホールをオープン
3	アライアンス・ビジョン-目指すべき姿を発表
4	2003年度の連結営業利益が過去最高となる8,249億円、売上高営業利益率は11.1%に達する
5	韓国日産、インフィニティ導入戦略を発表
5	東風汽車有限公司、広州市花都区の乗用車生産工場の操業を開始
6	2010年までに新たに世界本社、日本事業関連の主要機能を横浜市に移転
6	エジプトでの新事業計画を発表
7	自動車シミュレーターダスト等の3品目に関するリサイクル料金を公表
9	日産自動車、今年度の国内販売モデル6車種を一斉に披露
(平17) '05. 2	シンガポールにアセアン地域統括会社を設立
2	パキスタン市場へ完成車輸出を開始
4	ウクライナに販売会社を設立
4	マネジメントインスティテュートを開校
4	2004年度も過去最高の業績を達成 新中期計画「日産バリューアップ」を発表
5	栃木工場の新ゲストホールをオープン
6	台湾にインフィニティブランドを本格展開
6	オマーンに世界最大級のショールームをオープン
6	インドでの事業を本格開始
9	「日産180」コミットメントの100万台販売を達成
(平18) '06. 2	東風日産の新エンジン工場完成
4	ロシアのサンクトペテルブルグに新車両組立工場建設を決定
4	欧州全域へのインフィニティブランド展開を発表
6	グローバル生産累計台数1億台突破
7	新型コンパクトカー「ヴァーサ」を北米に投入
9	日産ディーゼルの保有全株式をボルボに売却
12	「ニッサン・グリーンプログラム 2010」を発表
12	デザインセンター(厚木)をリニューアル
(平19) '07. 2	日産、ルノー、マヒンドラ&マヒンドラと3社にて、インド、チェンナイにおける共同生産事業を発表
3	茂木試験場に本格オフロードコースを竣工